

令和3年度

学校関係者評価報告書

令和3年 3月31日

学校法人 東洋学園

専門学校 東洋公衆衛生学院

学校関係者評価委員会

はじめに、専門学校東洋公衆衛生学院では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施し、令和3年度学校自己評価報告書として取りまとめました。

以上を基に学校関係者評価委員による学校関係者評価を実施したので、その結果を報告します。

I 教育理念・教育目標

- ・教育理念および教育目標については、学生便覧、学校案内、Webサイトで公開され、また新入生のオリエンテーションにて説明を行っているが、学生及び保護者により深く理解度を高めてほしい。
- ・次期カリキュラムの改正にともなう見直しについて、検討してはどうか。

II 学校運営

- ・コロナ禍により定期的な教職員会議が開催できていなかったが、10月より一部WEB会議システムを活用し開催できたのはよかった。
- ・学校運営は理事会・評議員会で決定に基づいて行われておりコロナ禍であったが、おおむね順調に、年間スケジュールに沿って事業計画を進められている。
- ・GoogleWorkspace for Education を利用した学内ツールで退学率の減少や、卒業率の向上に取り組む姿勢がみられる。

III 教育活動

- ・教育活動は適正に行われている。
- ・学則、進級・卒業認定細則により成績評価、卒業の認定が適正に行われている。
- ・学生による授業評価を実施し、各科の教育活動の把握に取り組んでおり授業内容の改善に努めている。
- ・教員が学会や研修会に参加することを奨励されており、多くの教員が積極的に参加できているのは良い。

IV 学修成果

- ・学力の不十分な学生には個別指導や、希望者を集めての補習授業を行うことにより退学の低減が見られた。
- ・就職支援については、就職支援担当教員を1名選任し、就職指導の強化と就職支援情報の提供の充実を図ることができている。
- ・国家試験終了後に就職を決定していない学生がいるので、内定の早期獲得に向けての取り組みを行ってほしい。

V 学生支援

- ・特待生、優等生表彰について、情報として伝わっていないので、全体的な意識向上として、この取り組みについて学校評価のコメント欄に記載したほうがよい。
- ・学生ポータルサイトを開設し、新型コロナウイルス感染症関連情報や新着求人など様々な情報を提供している。
- ・学生及び保護者に対して奨学金制度関連の手続きや、学納金の延納・分納の受入、高等教育の

無償化新制度における授業料減免および給付型奨学金等について丁寧な対応を行っている。

VI 教育環境

- **Chromebook** を全学生に貸与するなど、教育上の必要性に十分対応した教育用具の整備ができています。
- 実習機器や備品は更新やメンテナンスを順次行っているため、学生が授業で十分に活用できている。
- コロナ禍で防災訓練など不十分であったため、消防計画の更新など検討してほしい。

VII 学生募集と受け入れ

- コロナ禍においても高校訪問活動やイベントの開催、入試選考等、適正に実施され、定員を確保できたことはよかった。
- 特別推薦入試（指定校制）以外の入試については、**Web 出願システム**を導入され、入試業務の効率化を図れている。

VIII 財務

- 健全に進められており、特に問題はない。

IX 法令等の遵守

- 個人情報について管理上の取扱いに配慮しており、特に問題はない。

X 社会貢献

- コロナ禍で小学生高学年対象の親子科学教室や、学院祭などを開催できなかったが、地域社会と連携する活動は続けてほしい。

以上